社会貿	[本総合整備]	計画 事	後評価書							•	令和07年03月27	7E
計画の名称	町民の健康増進る	と体力づくりに資す	する公園整備									
計画の期間	平成31年度	~ 令和05年	F度 (5年間)							重点配分対象の該当		
交付対象	津幡町											
計画の目標	津幡町では、将著	来的に少子高齢化が	が進行する傾向にあり、	同時に医療費の増加、要な	介護認定者数の増加、生活習慣	病患者の増加など、健康不	安や自治体財源の圧迫の抗	広大が懸念され	る。			
	そのため、町民の	の健康志向やスポー	- ツに取り組む意欲を高	弱めるとともに、町民の健原	東増進・体力づくりを進めてい	く必要がある。						
	よって、少子高齢	齢化への対応とあれ	つせて、幅広い年齢層だ	「多様な運動に取り組める 」	環境づくりが求められることか	ら、住吉公園において、温	水プール及び園路広場等の	の整備を行うこ	とにより、町民の健康増進	進・体力づくりを推進す	る。	
全体事業費	費(百万円)	合計 (A + B + C	:+D)	2,260 A	2,260 B	0 C	0 D	0 交	カ果促進事業費の割合 C /	(A + B + C + D)	0 %	6
	_	_	_									
												_
					11声の5	+ 田 口 +番 / 宀 旦 65 +比 +番 \						

	計画の成果目標(定量的指標)							
番号		定量的指標の現況値及び目標値						
	定量的指標の定義及び算定式	当初現況値	中間目標値	最終目標値				
		H30当初		H35末				
1	住吉公園における温水プール園路広場等の整備により、減少傾向にある町民の運動習慣者の割合を高める。							
	津幡町民の運動習慣者(1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施する者)の割合	38%	%	40%				
		T		1				
				T				
	1							
	備考等 個別施設計画を含む - 国土強靱化を含む - 定住自立圏を含む -	連携中枢都市圏を含む・	流域水循環計画を含む -	地域再生計画を含む -				

1

案件番号: 0000648621

		事業	地域	交付	直接	車状本	15014	1 4 Dil 0	要素となる事業名	事業内容	市区町村名/		間(年度)	全体事業費	費用	個別施設計i
基幹事業(大)	番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別 1	種別2	(事業箇所)	(延長・面積等)	港湾・地区名					策定状況
		一体的に		ことによ		される効果			•	•	•					
		備考														
『市公園・緑地等事		公園	一般	津幡町	直接	津幡町	-	-	都市公園等事業(住吉公	温水プール、園路広場等 A=	津幡町			2,260	4.66	-
¥	A12-001								園)	2.0ha						
							1				1					
											小計			2,260		
] 3 #1			_,		
							1				合計			2 260		1
											百計			2,260		
					1	Т	1		T	T	T		 			
					1		1			1						
							<u> </u>									
					I	T	1		T	T	T	1 1	 			

1 案件番号: 0000648621

	事後評価	
 事後評価の実施体制、実施時期		
事後評価の実施体制	事後評価の実施	時期
津幡町にて評価を実施	令和6年12月	
	公表の方法	
	津幡町ホームペ	ージにて公表
事業効果の発現状況	<u> </u>	
	び芝生広場等整備により、身体を動かす機会が増	え、幅広い年齢層の利用による健康増進に寄与した。 あり、体力づくりの増進に寄与した。
温水ブールの	施設利用の開始により、施設利用者が増加傾向に	あり、体刀つくりの増進に寄与した。
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		
文別対象争業の効素の光現状が		
公園施設の割	備により、快適性・安全性が向上することで、幅	広い年齢層の利用者が増加し交流の場を提供できている。
定量的指標以外の交付対象事業の		
効果の発現状況(必要に応じて記述)		
特記事項(今後の方針等)		
引き続き、温水プール等の施設利用の推進を図り、	町氏の体刀つくり・健康増進の推進を行っていく。	

案件番号: 0000648621

目	標値の達用		
	指標(略	- 	
留亏	指標(略目標値/	実績値	目標値と実績値に差が出た要因
	40%		
1	最 終 目標値	40%	コロナウイルス蔓延による外出自粛の影響により、期間中の運動習慣の割合が減少したと推測される。コロナ後となった現在徐々に元の習慣に戻りつつあるが、コロナ前までには回復していないと思われる。
	最 終 実績値	36%	

1